

第5章 大綱・基本方針

第1節 大綱

緑豊かで、太平洋の眺望に優れ、町民や町外から訪れる観光客の憩いの場として認知されてきているのが、磯浜古墳群である。地形に残された起伏により通常の遺跡に比べ認知される利点はあるものの、緑地や土砂に埋もれており、その持つ学術的な意義や歴史的な価値を現地において実感することが難しい課題がある。

長期的視点に立ち、台地上全域を保護し、磯浜古墳群を復元していくことが肝要である。この課題を克服するべく、解明されていない構造について追加調査を実施したり、古墳時代や磯浜古墳群について体系的に理解できる附属の博物館を設けたり、史跡の復元整備などを行う事とする。次世代を担う児童生徒を含め、訪れる人々が磯浜古墳群の持つ本質的価値に気付き、理解を深め、共感を抱き、未来へと継承していく将来像を描くものとする。

第2節 基本方針

本節では、前章までに明らかとなった磯浜古墳群の本質的価値を未来へと継承するべく、構成する各要素の現状と課題、及び前節の大綱を踏まえ、この先を進める保存管理・活用・整備・運営体制の施策や体系の根幹となる基本方針を示す。

1. 保存管理の基本方針

- ・台地上全体の磯浜古墳群の完全保存を目指して、長期的な調査を計画し遂行していく。
- ・史跡磯浜古墳群の範囲については、土地の公有化を進め、恒久的な保護を行うものとする。
- ・価値を持ちながらも指定には至っていない磯浜古墳群の土地については、地権者と交渉を重ね、同意を得て、追加指定を行っていくものとする。
- ・日々更新される考古学研究者による調査研究成果や全国的な発掘調査成果等に基づきながら、磯浜古墳群の本質的価値の理解を深め、適切な保存管理の策を講じることとする。

2. 活用の基本方針

- ・学校教育の場で、多くの児童生徒・学生を対象に、郷土学習や考古学研究的教材として磯浜古墳群を活用する。
- ・町民の生涯学習を実践する場として、磯浜古墳群を活用する。
- ・商店街と一体化した立地を活かして、考古学愛好家や大洗ファンなどとも連携をとりながら、地域や観光の振興に繋がる活用策を進める。

3. 整備の基本方針

- ・史跡 磯浜古墳群や磯浜海防陣屋跡について、歴史と文化を活かしたまちづくりの中核に位置付け、保存と継承を目的とした歴史公園の整備を進める。
- ・古墳の中で範囲や構造がはっきりしない部分については、追加の調査を実施し、その内容を解明し、復元的整備を進める。
- ・磯浜市街地と一体化し、緑豊かで、太平洋の眺望に優れている本地は、近隣住民の憩いの場となるよう、整備を進める。
- ・観光客が訪れる観光資源として、地域振興や観光拠点となる整備を進める。
- ・弥生・古墳時代の遺跡や、磯浜古墳群・磯浜海防陣屋跡などの歴史を軸に、海と人々との繋がりを、地域史として体系的に学ぶことのできる、博物館を設ける。
- ・多様な人が磯浜古墳群の価値に触れることのできる、バリアフリーに配慮したアプローチ（駐車場・散策路・便益施設・休憩施設・植栽等）の環境整備を進める。

4. 運営体制の基本方針

- ・磯浜古墳群の持続的な保存と活用を図っていくための運営体制を構築する。
- ・将来を見据え、町教育委員会の文化財係に文化財専門の正職員を複数名採用・配置し、体制の充実を図るものとする。
- ・町教育委員会の文化財係を中心としながらも、庁内職員と連携をとりながら、専門家の助言を受けつつ、他の機関・組織・愛好家などとも意思疎通・情報共有を継続する。